

2018年度学校評価（自己評価と学校関係者評価）結果

1 教育理念

暁の星幼稚園は
「いつも喜んでいなさい 絶えず祈りなさい どんなことにも感謝しなさい」
これこそキリスト・イエスにおいて神があなたがたに望んでおられることです

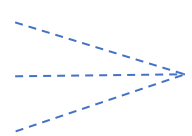
（使徒聖パウロのテサロニケの信徒への手紙1 5:16~18）

この聖パウロの勧めを日々生きていくことをめざし
キリスト教カトリックの精神に基づいて

- 1 神からいただいたいのちに向き合います
- 2 家庭と協力して子どもたちを育みます
- 3 モンテッソーリ教育を通して、自立を援助します
- 4 社会の中で生きていく基礎を培います
- 5 成し遂げる強い意志、希望をもって、未来に向かう心を育てます

2 教育目標

大切にす
やり遂げる
喜び合う



子どもを育てる

3 30年度 重点目標

「神様の愛を感じながら子どもにとって大事な環境を整えていこう」

4 学校評価への取り組み

30年度から「施設型給付を受ける幼稚園」として歩み始めた。建学の精神に基づきながら、幼児教育の重要性と課題を踏まえ、社会の要請に応える幼稚園教育の在り方を求めていく。目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組みを評価することにより、組織的・継続的な改善を図りたい。自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による園づくりと教育の質の保証、向上を図っていききたい。なお一層の教職員の資質の向上に努めていく。

(1) 自己評価

実施期間 : 平成30年12月19日～26日

実施人数 : 常勤教員9名 非常勤教員2名 計11名

16項目について4段階評価

A 当てはまる B 少し当てはまる C 概ね当てはまる D 当てはまらない

自 己 評 価 項 目	A	B	C	D
1 教職員は、カトリックの教育理念に基づく教育方針により日常の教育を行っている。	3	8	0	0
2 本年度の重点目標「神様の愛を感じながら子どもにとって大事な環境を整えていこう」を日々の教育活動の中で常に心がけて努力している。	5	4	2	0
3 教職員は、幼稚園教員としての喜びや誇りを感じている。	11	0	0	0
4 教職員同士の連携がとれ、協力できている。	3	8	0	0
5 園外研修後の報告会での学びを共有し、資質、技能の向上に努めている。	4	4	3	0
6 教職員は園児の健康増進、安全管理の意識を常に持って保育に従事している。	3	8	0	0
7 教職員は、常に問題解決に取り組み、改善に努力している。	5	5	1	0
8 教職員は、モンテッソーリ教育の良さを保護者に説明することができる。	3	8	0	0
9 年間の各行事への取り組みは子供たちの心身の豊かな成長を促し、園生活の大切な思い出となっている。	10	1	0	0
10 園だよりの「月のねらい」「生活目標」は園生活の具体的指針として子どもたちの成長に役立っている。	6	5	0	0
11 教職員は、園だより、お知らせ、HP などによる情報発信に努力している。	5	6	0	0
12 毎月の「園長のお話」、送迎時、定期の個別面談時、家庭訪問、保護者会での話し合い等で保護者の願いや要望・意見をしっかりと聞いて互いに連携を深め、子どもの成長を喜び合い、「楽しい幼稚園生活」を作り上げている。	3	8	0	0
13 保護者は本園教育をよく理解し、よく協力してくれている。	3	8	0	0
14 特別支援児を受け入れて異年齢クラスの中での成長に根気よく取り組んでいる。	10	1	0	0
15 「一時預かり」は保護者のニーズに応え円滑に実施されている。	8	3	0	0
16 入園前の「親子で遊ぼう」、1、2歳児の「てんし組」の運営、満3歳児入園に積極的に取り組んでいる。	10	1	0	0

(2) 学校関係者評価

- ・ 平成31年2月26日 学校関係者委員会開催
- ・ 学校関係者4名（地域住民代表2名 保護者代表2名）
- ・ 教職員代表2名 オブザーバー（法人代表）1名 計7名で実施

以下は、教職員による「自己評価」結果の16項目を次の①～⑤にまとめて、上記の7名が話し合ったことを委員代表がまとめたものである。

① 教育の理念、方針、目標について … 設問1, 2, 8, 10

- ・神父様による勉強会を毎月1回実施し、カトリック幼児教育の基本精神を学んでいる。
- ・新採用の2年間でモンテッソーリコース教師のディプロマを取得し、その後も県内外の研修会等に参加している。
- ・日々子どもとともに祈り、モンテッソーリ教育による教育活動を継続している。
- ・園の目標づくりも会議などで教職員同士意見を共有している。
- ・しっかりと祈りの心は子供たちにも伝わっていると感じる。

課題：東京や県内外での研修会などで学んだことを教職員間で共有する十分な時間がない。

対策として、園内研修日を年間計画に固定し、優先的に取り組むようにしたい。

② 教職員の資質について … 設問3, 4, 5, 6, 7

- ・長年大切にしている「それぞれの子供の育ちを大切に」という考えが少し認識が甘くなっているのではないかと感じる。シスターたちが身をもって示していた「それぞれの子供たちを真摯に見つめる目、心」は、モンテッソーリ教育の基本理念であると考え。今一度教職員間で理念の共通認識、意識向上を望む。
- ・教職員が園長などに意見をしやすい職場であるか、風通しのよい環境づくりが求められる。

ご心配、ご要望に対する園長・副園長の回答

- ・シスター撤退後、ご心配のないようにと努めている。しかし十分でないことも承知している。
- ・日々の職員夕会で、とことん話し合い、反省をし、心の目を全開にしてかかわっている。園児たちの成長を喜びとし、神様に愛されている園であることを感謝し、希望をもって前進している。
- ・毎朝の職員朝会では神の慈しみに信頼し、祈りのうちに、希望をもって日々新たな気持ちで園児の教育・保育に一致協力して取り組んでいる。

③ 特色ある教育 … 設問8, 2, 9

- ・さまざまな行事を見ていて、行事を通して子供たちが日々成長しているのを感じる。
- ・教職員が一丸となってそれぞれに真剣に子供たちと向き合い、教育している姿が大変素晴らしいと思う。

④ 情報発信 … 設問10, 11, 13

この件に関しては意見が多数挙げられた。早急な対応が求められていることを課題として受け止めなければならない。

- ・毎月の園だよりの内容を、保護者ではない評議委員などにも届けるなど、必要な人への情報開

示がほしい。

- ・HPのより一層の充実（もう少し更新の頻度を上げる。短くてもよい）
毎月頭の「園長のお話」をまとめたものなどを up すれば、園に来られない保護者も助かり、定期的な更新になるのでは。
- ・クラスの病気の流行の注意、日ごろの生活の様子など、短くてよいので、気軽に文章だけでも更新していけばよいのでは。
- ・安心メールの検討（すべての保護者に簡単に情報提供できる）
- ・早め、早めの情報提供（行事変更や病気の流行など）がほしい。
- ・園からすれば当たり前の内容が、保護者に伝わっていないことが多い。基本的な方針等をHPやお手紙などで丁寧に伝えれば、相互理解が深まり、保護者からの信頼へとつながると感じる。

⑤ 子育て支援 … 設問12,14,15,16

- ・親子で遊ぼうなどに遊びに来られるお子さんの様子を見ながら、保護者へモンテッソーリ教育の観点からの子育てアドバイスなどお伝えすると、園への信頼、理解が深まるのではないか。
- ・初めて子育てする保護者はいつも不安を抱えているので、そこへ手を差し伸べる心を大切にしてほしい。

《総評》

全体的に、教職員はみな意欲的で、進んで様々な行事等に取り組み、教育への熱意も大きいと感じる。ただ、近年、時代の変化とともに、保護者と園、地域をつなぐ情報提供がより丁寧に細かく求められている。園、保護者、地域が三位一体となって、子供たちのため、よりよい幼稚園づくりのために相互理解、相互信頼を深めていくためには、教職員間、保護者間、園と保護者間、園と地域など、互いの風通しの良い環境づくりへのより一層の相互協力が必要である。

以上の委員の評価のまとめを踏まえ、教職員全員が、30年度の反省会議において、次の通り次年度の園運営の優先課題を決定し、改善を図ることとし教育重点目標を設定した。

2019年度 園運営の優先課題

- 1 園児たちの、明るく、楽しく、素晴らしい成長の姿を、早く、正しく保護者に伝えるよう情報発信を工夫する。
- 2 園内研修の更なる充実を図り、本園教育の特色をより確かなものとする。

2019年度の教育重点目標

「子どものために

気づく、受け止める、寄り添う」